

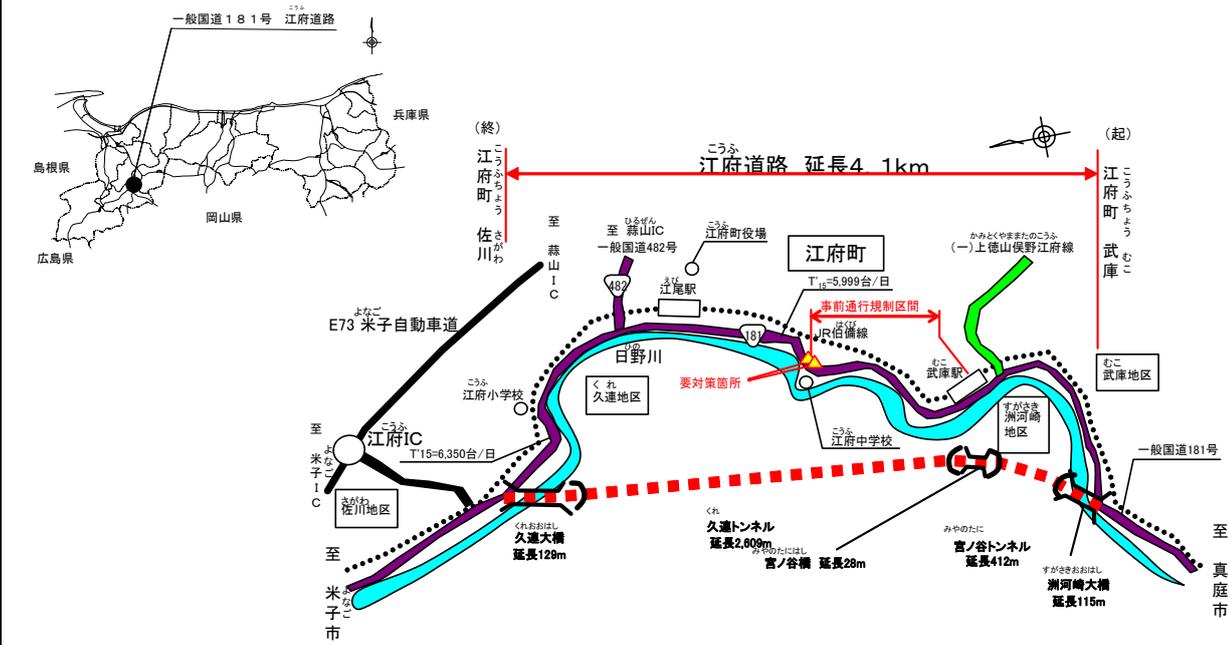
## 再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名	地域高規格道路 江府三次道路 一般国道181号 江府道路	事業区分	一般国道	事業主体	鳥取県	
起終点	自：鳥取県日野郡江府町佐川 至：鳥取県日野郡江府町武庫			延長	4.1 km	
<b>事業概要</b> 一般国道181号江府道路は、鳥取西部地方生活圏と広島県備北地方生活圏を相互に連絡し、中国横断自動車道岡山米子線や中国縦貫自動車道と一体となって循環型ネットワークを形成する地域高規格道路「江府三次道路」の一部を構成し、現道の線形不良区間、事故多発地点、事前通行規制区間の迂回を目的とする延長4.1 kmの事業である。						
H17年度事業化		都市計画決定なし		H21年度用地着手		
H22年度工事着手						
全体事業費	約133億円	事業進捗率	約32%	供用済延長	— km	
計画交通量	7,800台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.1	総費用 (残事業/事業全体)	71/119 億円	総便益 (残事業/事業全体)	125/125 億円
	(残事業)	1.8	事業費：68/116 億円 維持管理費：3/3 億円	走行時間短縮便益：106/106 億円 走行経費減少便益：15/15 億円 交通事故減少便益：3.5/3.5 億円	基準年：令和元年	
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量：B/C=0.9~1.2 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.6~1.9 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.0~1.1 (事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.6~1.9 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=0.9~1.2 (事業期間 ±20%) 事業期間：B/C=1.7~1.8 (事業期間 ±20%)						
<b>事業の効果等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通過交通と域内交通の分離を図り、線形不良区間と事故多発区間の解消を図る。</li> <li>・ 現道の異常気象時事前通行規制区間を迂回することにより、幹線道路としての信頼性が向上する。</li> <li>・ 鳥取県日野郡地域と広島県備北地域の広域的な連携強化に寄与する。</li> </ul>						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 鳥取県日野町、広島県庄原市等2市3町の首長、議会議長・副議長から構成される「地域高規格道路江府三次道路建設促進期成会」より、早期整備の要望を受けている。						
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 本事業については、事業費の増額及び将来交通量の見直しの内容及びそれらに基づく費用便益比の再算定について検証を行った。また、審議にあたっては、事業の進捗状況や交通事故発生要因などについて現地で確認した。更に、事前通行規制区間解消による防災・減災効果など費用便益比のみでは表せない定性的効果もあわせて検証し、審議した結果、継続が妥当と判断した。						
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 特になし。						
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地取得率約100%、事業進捗率約32%						
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 引き続き、早期供用に向けて事業を推進する。						
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 発生土を他の事業箇所へ流用する等コスト削減を図っており、今後もコスト削減を図りつつ事業を推進していく。						
対応方針	事業継続					
<b>対応方針決定の理由</b> 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。						

# 事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。